

野田市公共下水道事業 事業再々評価(汚水)

平成20年11月
千葉県野田市

野田市の概要

本市は、千葉県最北端部に位置し、東を利根川、西を江戸川、南を利根運河と、三方を河川に囲まれた緑豊かな地域で、古くは河川を利用した船による江戸への物流の中継地として、また、醤油産業の拠点として今日まで発展してきました。



事業の必要性(汚水)

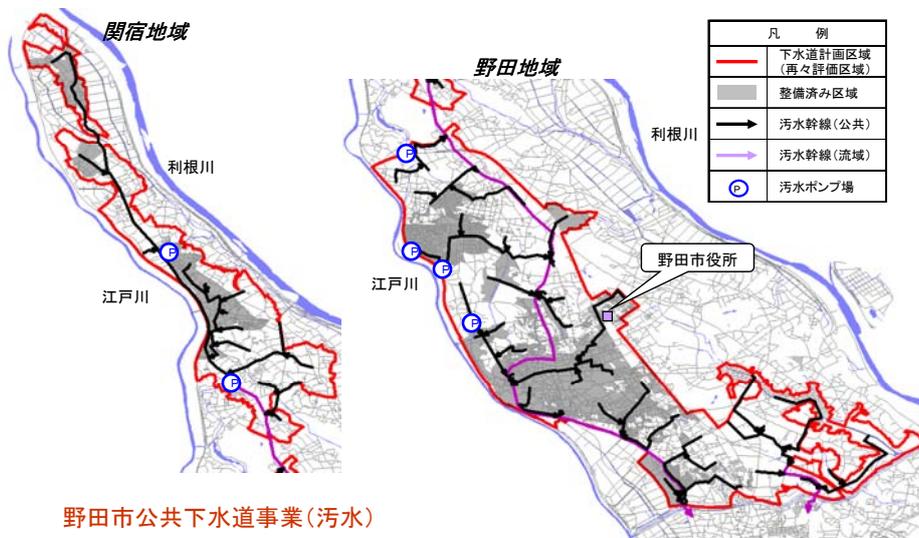


【汚水】

- 生活環境の改善
- 公共用水域の水質保全



下水道事業の概要(汚水)



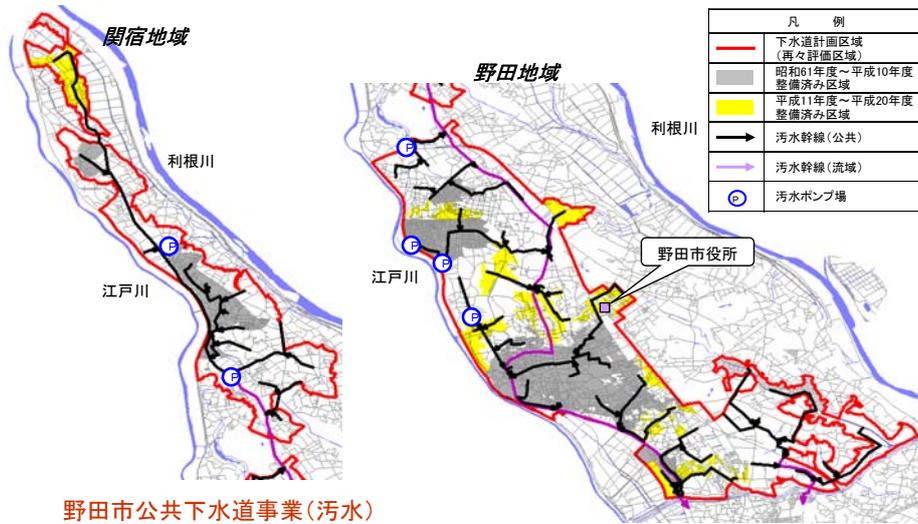
指標1 費用効果分析(汚水)

総 便 益 (B)	3,169 億円
総 費 用 (C)	1,946 億円
費用便益比 (B / C)	1.6

指標2 事業の進捗状況(汚水)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは1,460haであり、事業計画1,997haに対して整備率は約73%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は約85%である。
地元情勢等	野田市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(汚水)



指標3 社会経済情勢等(汚水)

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特はない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(汚水)

指 標	状 況
コスト縮減	・再生アスファルト合材の利用によりコスト縮減に努めている。 ・啓発活動を開催し、事業に対する理解度を高める事により、事業効果の発現に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(汚水)案

野田市公共下水道事業（汚水）は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

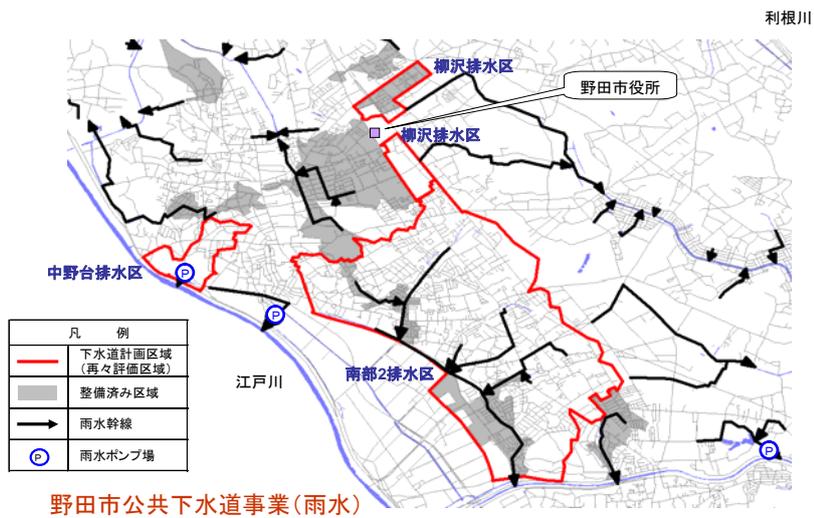
事業の必要性(雨水)

【雨水】

■ 浸水による被害から住民の
安全と財産を守る



事業の概要(雨水)



指標1 費用効果分析(雨水)

総 便 益 (B)	268 億円
総 費 用 (C)	165 億円
費用便益比 (B / C)	1.3 ~ 1.8

指標2 事業の進捗状況(雨水)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画153haに対して101haを整備し、整備率は66%である。
地元情勢等	野田市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(雨水)



指標3 社会経済情勢等(雨水)

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特はない。
計画変更の有無 及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(雨水)

指 標	状 況
コスト縮減	<ul style="list-style-type: none">・再生アスファルト合材の利用によりコスト縮減に努めている。・集中的に事業の推進を図り、早期に事業効果が発現するよう努めている。

対応方針(雨水) 案

野田市公共下水道事業は、今後も整備が必要とされることから、当事業を継続していく方針です。